

平成 27 年 1 月 27 日

株式会社 gumi
株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社

スマートフォン関連のベンチャー企業向け投資ファンドのファイナルクローズについて

株式会社 gumi（東京都新宿区、代表取締役社長 國光宏尚、以下「gumi」）、株式会社新生銀行（東京都中央区、代表取締役 当麻茂樹、以下「新生銀行」）連結子会社の新生企業投資株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 松原一平、以下、「新生企業投資」）は、スマートフォン関連のベンチャー企業向け投資ファンド「gumi ventures 2号投資事業有限責任組合」（以下、「gumi ventures 2号」）のファイナルクローズを平成 27 年 1 月 23 日に行いましたので、お知らせいたします。

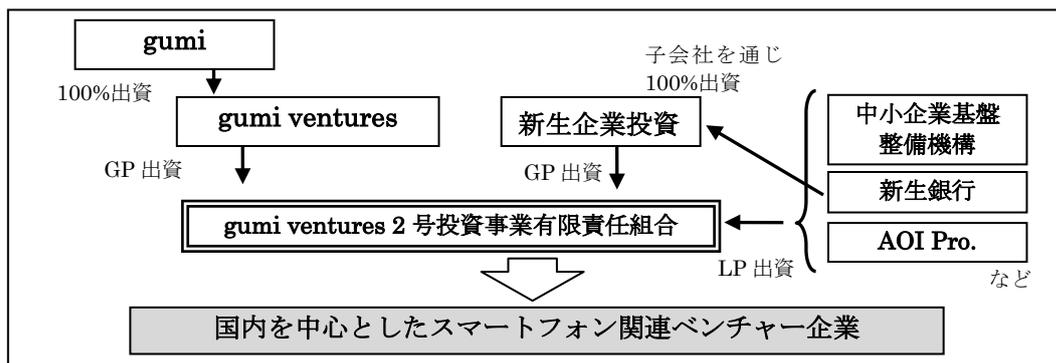
gumi ventures 2号は、スマートフォンの本格的な普及に伴い、モバイル端末の動画コンテンツやプラットフォームを中心に新しい技術やサービスの開発・普及が期待されるアリーステージのベンチャー企業への投資と、gumi の事業基盤やノウハウを活用したハンズオン型の支援を実施することを目的に、gumi の 100%子会社、株式会社 gumi ventures および新生企業投資が GP（無限責任組合員）出資を行い、新生銀行が LP（有限責任組合員）出資する形で平成 26 年 8 月 21 日に共同で設立いたしました。今般のファイナルクローズでは、独立行政法人中小企業基盤整備機構（東京都港区、理事長 高田坦史）、株式会社 AOI Pro.（東京都品川区、代表取締役社長 藤原次彦）などが新規に LP 出資を行い、ファンド総額は 20 億円となりました。

gumi と新生銀行では、平成 24 年 7 月にアジアを中心としたアリーステージのモバイルエンタテインメント企業向け投資ファンド「gumi ventures L.P.」を共同で設立、gumi のアジアを中心とした海外展開に資するベンチャー企業数社への投資を成功裏に完了いたしました。特に、同ファンドで投資した株式会社エイリムが開発した本格的ロールプレイングゲーム（RPG）「ブレイブ フロンティア」は、グローバルで 2,000 万ダウンロードのヒットを記録しております。gumi ventures 2号は gumi と新生銀行グループの 2 件目の投資ファンドとなります。

gumi ventures 2号では、gumi の培ってきたモバイルエンタテインメント業界の知見やネットワークと、新生企業投資が持つプライベートエクイティ業務における経験と実績を活かし、今後成長が期待されるスマートフォンなどモバイル端末におけるメディア事業へのハンズオン型の投資を通じて、同事業分野のベンチャー企業の育成を支援してまいります。

【gumi ventures 2号ファンドの概要とスキーム図】

- 名 称 : gumi ventures 2号投資事業有限責任組合
- 設 立 日 : 平成 26 年 8 月 21 日
- 出資総額 : 20 億円
- 出 資 者 : GP（無限責任組合員）出資：株式会社 gumi ventures、新生企業投資株式会社
LP（有限責任組合員）出資：独立行政法人中小企業基盤整備機構、株式会社新生銀行、株式会社 AOI Pro. など
- 期 間 : 組合期間 6 年
- 投資対象 : 国内を中心としたスマートフォン関連ベンチャー企業



以 上